

# フローチャート

下記の「A. 適切なサンプルタイプ」、または「B. 補体評価に適切な手法」のための フローチャートをご利用ください。

## A. 適切なサンプルタイプ サンプルタイプはどちらですか? 補体機能または各補体成分の 補体機能 各補体成分の評価 評価のどちらですか? 補体保存血清 EDTA血漿 ・無菌的に収集し、1時間以内に処理してください。 • 採取後すぐに氷上に置きます。 ・室温で凝固させます (30 ~ 45 分)。 ・1時間以内に処理してください。 ・2000 x g、4℃ で10 分間遠心分離します。 ・2000 x g、4℃ で10 分間遠心分 ・-80℃で保管してください。 離します。 ・分析前のサンプルは氷上保管してください。 ・-80℃で保管してください。 ・凍結融解は避けてください。 ・分析前のサンプルは氷上保管し てください。 人為的なチューブ内の補体活性化を阻止! ・凍結融解は避けてください。 テクニックもしくはアッセイの B<sub>-</sub> 適切な手法の選択 どちらですか?



### 補体保存血清

- ・溶血活性アッセイ CP(CH50) AP(AH50)
- ·機能的ELISA
- ・機能化リポソーム

補体機能または各補体成分の 評価のどちらですか?

### 各補体成分の評価



- •マルチプレックスアッセイ
- •OMICS/タンパク質アレイ
- 質量分析











補体機能











